

東京都立北特別支援学校

令和4年10月31日(月) 発行

〒114-0033

東京都北区十条台1-1-1

東京都立北特別支援学校長 小池 巳世

担当：特別支援教育コーディネーター 萩原 朝子

TEL 03-3906-2321

特別支援教育コーディネーターだより②

～地域の小・中学校の先生方へ～

こんにちは！北特別支援学校です！

いつも本校の教育活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。

特別支援教育のことを小・中学校の先生方に広く知っていただくために、コーディネーターだよりという形で、情報を発信させていただいています。御参考にさせていただければ幸いです。



○副籍交流について

ここ何年か感染症防止から、直接交流ができなくなる状況が続いておりましたが、今年度は十分な感染症対策を行った上で直接的な交流ができるようになってきました！

また、昨年度に引き続き、「オンラインによる交流」や「作品交流」「プロフィールカードの提示」なども地域指定校の友達とつながる手段として積極的に取り組んでおります。

間接交流では、「手紙の交換」「作品展示と感想」等、できるだけ、双方向で行える交流の形を共に考えていただけると嬉しいです。

直接交流・間接交流にかかわらず、どの子供や御家庭も、近所ですれ違ったときに挨拶できるような「地域の友達」ができることを願って副籍交流を行っています。交流している子供たちは皆さんの近所に住んでいます。子供たち同士は、近所のスーパーや路上で偶然に顔を合わせることがあるかもしれません。そのような時に、これまでと変わらず「久しぶり！」と声を掛けてもらえるような関係を継続していけるよう、共に取り組んでいければと思っています。

また、近年は御家庭から「災害時に向けて近所に顔見知りをつくっておきたい」という言葉を聞くことが多くなりました。いざというときに知っている人がいると、それだけで御家族や子供自身が安心して過ごすことができます。



○「籍のみ」という選択肢があります

副籍交流には「直接」「間接」の他に、特に交流はしないけれども副次的な籍だけを地域指定校に置く「籍のみ」という選択肢があります。存在を知ってもらうという意味で、**辞退ではなく「籍のみ」を選択される御家庭もあります**。非常時には、最寄りの学校が避難場所になることがあります。いざという時、「北特支に通っている子が学区域内に住んでいたな」と思い出してもらえると、とても心強いです。

○本校のことを知ってください！

今号では、少し詳しい学校の様子をお伝えします。北特別支援学校は**肢体不自由特別支援学校（病弱教育部門もあります）**なので、車イスのまま乗ることのできるバスが学区域内をくまなく走り、児童・生徒の登下校を支援しています。校舎は2階建てです。広い廊下にそのまま傾斜が付いたよう



な長いスロープや、一度に3台の車イスが入れる大型エレベーターが3基あり、校内に段差はありません。このように、**車イスで学校生活を送るための設備が備わっています**。



給食は、個々の食べる機能に合わせて、①**普通食**、②**後期食**（親指と薬指で軽くつぶせる程度の硬さのもの）、③**中期食**（舌の動きを使ってつぶせるくらいの軟らかさのもの）、④**中プロ食**（中期食をフードプロセッサーにかけて細かく砕いたもの）、⑤**初期食**（粒や繊維が残らないもので口の中に入ったらそのまま飲み込める形状のもの）の5形態が提供されています。形態食は、素材ごとに初めから別調理をしているため、素材の色が鮮やかです。

※写真の日の献立は、牛乳 ごはん 一口カツとあじごまフライキャベツ添え ひじきの煮物（ほうれん草・大根） セミノールオレンジです。



○いつでも御相談ください

小・中学校の通常の学級、特別支援学級に在籍している肢体不自由のある児童・生徒に関すること、障害の有無にかかわらず「**身体の使い方がぎこちないと感じる児童・生徒の指導**」に関することでしたら、情報提供や専門的視点からの助言等、お力になれることがあると思います。また、特別支援教育の関係諸機関に連絡を取り、支援につなげるお手伝いができる場合もあります。また、ユニバーサルデザインについての単元学習の一環として本校の紹介、**障害理解のための出前授業**などにも対応しています。何かありましたら、気軽に御相談ください。